

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	那須町
事業名	那須町工芸作家による地域づくり事業
事業主体の名称	那須町文化活動委員会
代表者の名称	牛渡 洋
事業主体の所在	那須町大字高久甲2888-32
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> 団体の目的: 地域住民と連携して那須町の地域づくりに寄与すること 設立年月日: 平成28年12月15日 構成員等: 芸術家及び工芸家等の指導者
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>那須町には多くの有能な芸術家、工芸家が多く居住しているが、県内外の人々がその作品や芸術体験に触れる場の整備がなされておらず、那須の自然の中で芸術体験をしたいと考えている人への情報発信も不足している状況にある。そのため、体験型観光客の新規掘り起しができていないことが課題である。</p>
事業目的	<p>那須教育旅行誘致協議会などの関係団体と提携し、絵画、工芸、書道、華道などの体験教室、芸術祭、収穫祭などを開催するとともに、那須町に來訪することでしかできない芸術体験を積極的に情報発信する。</p> <p>また、那須に居住する素晴らしい芸術家、工芸家を効果的に活用して県内外から体験型観光客を集客し、文化交流人口を増加させると同時に地域経済の活性化を図ることを目的とする。</p>
事業概要	<p>【平成30年度】</p> <p>① 体験教室の開催 目的: 那須に來訪することでしかできない芸術体験予約制で実施した。 (開催日) 5月12日 ガラス工芸体験 横浜国立大学吹奏楽部 30名 6月15日 苔玉作り体験 那須高原ビューパレス宿泊者 6名 8月7日 足元ランブ作り体験 茨城県水戸市水泳部 29名 8月21日 日光彫体験 小山市老人クラブ 20名 9月15日 ガラスデザイン体験 那須中学校生徒 18名 12月23日 クリスマスランブ作り体験 フェイスブックでの募集 地元住民10名</p> <p>② 芸術祭の開催 目的: 那須地区の芸術家、工芸家の作品を展示し、文化交流人口の増加を図る。(工芸作家、芸術作家23名参加) (開催日) 4月1日～4月30日 春の芸術祭 集客数150名 場所: サッポロビール園 9月9日 いろいろ体験芸術祭 集客数200名 場所: 旧室野井小学校 ※3回の芸術祭実施を予定していたが、他のイベントと重複し調整が困難となり2回の実施に至った。</p> <p>③ 収穫祭の開催 農協等と連携し、地域の農産物と地域の芸術作品を同時にPRすることを目的に、町内観光施設において11月の開催を予定していたが、会場の都合により開催には至らなかった。</p> <p>④ 情報の発信 目的: 那須に來訪することでしかできない芸術体験の情報をホームページ・広告・新聞折込・ポスターを用いて積極的に発信した。</p> <p>⑤ 関係団体との連携 目的: 体験型観光客を滞在型観光客へとつなげるため、宿泊業者への斡旋や芸術祭や収穫祭への参加協力について関連団体と連携した。 関係団体: 那須野農協、那須町観光協会、那須町商工会、那須教育旅行誘致協議会</p> <p>【平成31年度以降】</p> <ul style="list-style-type: none"> 前年度の取組の検証・分析を踏まえ、事業を継続する。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標1】産業振興による活力ある地域戦略</p> <p>【基本的方向】観光産業の振興と交流人口の拡大</p> <p>【KPI】観光客入込数 4,847,795人(H29実績) → 5,400,000人(H31)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	30年度	31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①体験教室の開催 ②芸術祭の開催 ③収穫祭の開催 ④情報の発信 ⑤関係団体との連携	①体験教室の開催 ②芸術祭の開催 ③収穫祭の開催 ④情報の発信 ⑤関係団体との連携	①体験教室の開催 ②情報の発信 ③関係団体との連携		①体験教室の開催 ②情報の発信 ③関係団体との連携
事業費	1,166,875	453,364	100,000	1,720,239	100,000
市町支出金 (ソフト事業分)	882,278	163,841	0	1,046,119	
うち県交付金	441,139	81,920	0	523,059	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	284,597	289,523	100,000	674,120	100,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり係
担当者名	赤羽根 初美
電話	0287-72-6935
FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasu.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	那須町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	那須町工芸作家による地域づくり事業	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	予算額	備考
町支出金	163,841	交付金
自主財源	289,523	那須町文化活動委員会負担分
計	453,364	

2 支出の部

科目	予算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市町交付金	県交付金		
報償費	25,000	25,000	12,500	0	講師謝礼3名分
消耗品費	2,500	0	0	2,500	コピー代
印刷製本費	131,717	40,500	20,250	91,217	チラシ 7,500部印刷 捨て看板製作費(3枚) ロードマップ制作1,000部 シール制作
通信運搬費	47,622	0	0	47,622	電話代、切手代
手数料	63,981	32,281	16,140	31,700	新聞折込代・振込手数料
保険料	20,700	20,700	10,350	0	団体保険
委託料	32,400	32,400	16,200	0	インターネット管理委託
	12,960	12,960	6,480	0	交通誘導業務委託
交際費	10,800	0	0	10,800	会員葬儀用献花
寄附金	7,000	0	0	7,000	那須町へ寄附
繰越金	98,684	0	0	98,684	次年度繰越金
計	453,364	163,841	81,920	289,523	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	那須町
事業名	「クロロとゆめな」を活用した黒田原地域活性化事業
事業主体の名称	黒田原活性化プロジェクト
代表者の名称	渡邊 陽裕
事業主体の所在	那須町大字漆塚325
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:町民主体の活動により、地域の課題解決を实践、黒田原エリアを軸とした那須町の地域振興に寄与すること ・設立年月日:平成29年1月21日 ・構成員等:事業の目的を理解し、その目的達成に向けて努力する者
当該事業に係る地域の現状と課題	現在、黒田原地域は人通りの少ないシャッター商店街となっている。年に数回、祭り等の催事も開催し、ポイントでの集客はできているものの、継続したにぎわいの創出には至っていない。そこにはアクセスの悪さ、観光資源の少なさなど多くの要因があるが「知られていない」ことが最大の理由である。にぎわいを創出するために、地域知名度の向上・魅力発信が課題である。
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・黒田原を中心に、那須町の知名度向上、魅力発信、ファンの獲得を図る。 ・黒田原商店街に人を呼び込み、にぎわいの創出、活性化を図る。
事業概要	<p>【平成30年度】 黒田原のマスコットキャラクター「クロロとゆめな」を活用し、2017年度から継続している下記の事業を実施した。</p> <p>①2017年度制作のラッピングカー及び告知物による魅力発信事業 目的:昨年制作した「クロロとゆめな」のラッピングカー及び告知物を活用し、町のPRを継続実施する。ラッピングカーの制作はメディアにも取り上げられ、注目度も高かった。並行して制作した告知物も有効活用し、各イベント会場にて継続してキャラクター及び町の魅力を発信した。 日時:5月5日～6日のとちテレアニメフェスタCDリリースイベント(宮カフェ)をはじめ3月30日までのゆめな卒業式・3代目ゆめな就任式など 場所:那須町内イベント会場等</p> <p>②ポスター・チラシ等によるPR事業 配付:年間を通して実施した。 目的:キャラクターポスター・チラシ等、告知宣伝に係るものを制作し、町内及び周辺地域をはじめ、キャラクターの遠征先等での配布・掲示等を行い、地域のPR及びファンづくりを実施した。</p> <p>③LINEスタンプ制作によるPR・集客事業 目的:7,000万人以上の利用者を誇るインフラの一部となっているLINEで使用できるキャラクタースタンプを制作した。現状は、クロロ単体のものしかない状況で以前より制作要望があったスタンプを制作しSNSで拡散することにより、上記チラシやポスター等と合わせ、PRの相乗効果を期待できる。また、リリース時に黒田原来訪者が連携先のポイントを巡ると先着でLINEスタンプがプレゼントされる仕組みをつくることで、黒田原への来訪機会つくりと黒田原を知ってもらった。</p> <p>キャラクターを活用することで、コミュニケーションの障壁が下がり、より多くの層へ地域の魅力を伝えることができた。那須町黒田原の史実に基づいて生まれたキャラクター「クロロとゆめな」は年間イベント50日前後の稼働数(H29実績)であり知名度も増している。</p> <p>【平成31年度以降】 PR活動には、これまでの経験を活かし、更なる飛躍を目指しキャラクターをツールとして黒田原のPRを実施していく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標1】「那須」の魅力を最大限に活用した地域戦略 【基本的方向】「那須[しかない]」地域資源を活用した魅力ある地域戦略 【KPI】地域ブランド調査観光意欲度全国ランキング 184位(H26) → 100位以内(H31)【H28実績184位】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	30年度	31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①短編映画PR ②ラッピングカーPR ③ポスター・チラシ等PR	①ラッピングカーPR ②ポスター・チラシ等PR ③LINEスタンプ制作			①ラッピングカーPR
事業費	1,024,123	475,000	0	1,499,123	0
市町支出金 (ソフト事業分)	1,000,000	465,000	0	1,465,000	0
うち県交付金	500,000	232,500	0	732,500	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	24,123	10,000	0	34,123	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり係	
担当者名	赤羽根 初美	
連絡先	電話	0287-72-6935
	FAX	0287-72-1133
	E-mail	kikaku@town.nasu.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	那須町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	「クロロとゆめな」を活用した黒田原地域活性化事業	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
町支出金	465,000	交付金
会費	10,000	団体会費徴収
計	475,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
印刷製本費	85,000	85,000	42,500	0	パンフレット制作 日本語版5,000部 写真 印刷A3 50枚
旅費	4,840	4,840	2,420	0	イベント参加旅費
委託料	385,000	375,160	187,580	9,840	LINEスタンプ制作・デ ザイン・イベント運営業
繰越金	160	0	0	160	次年度繰越金
計	475,000	465,000	232,500	10,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	那須町
事業名	だっばら駅前マルシェ
事業主体の名称	だっばら駅前マルシェ
代表者の名称	渡辺 陽一
事業主体の所在	那須町大字寺子丙3
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:食を通じ農と商工業の交流による経済活性化を目指す。 ・設立年月日:平成28年12月19日 ・構成員等:正会員は、この会の目的に賛同し入会した者及びマルシェ出店者とする。
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>かつての黒田原駅前地区は、町の中心地として賑わっていたが、現在の駅前通りには営業している店舗がほとんどなく、シャッター通りとなって永い年月が経過してきた。また、農業を筆頭に観光商工業も衰退の一途を進み、担い手の減少や高齢化が進んでいる。</p> <p>農商工連携が遅れていることと農畜産物や商工業は零細事業者が多いため、広報や情報発信が貧弱なことが課題である。</p>
事業目的	<p>埋もれている農畜産物やその加工飲食物、生産者の顔や経営指針をマルシェで披露することで、売上の向上と後継者増加を図る。また、農業や商工業者の交流と連携で新たな価値を創造し、地域担い手の人材育成を行う。さらに、東北線の駅前を活かしてDCと運動させ、観光振興を図る。</p>
事業概要	<p>【平成30年度】 ナイトタイムエコノミーを那須から発信するために、毎月プレミアムフライデーの夕方にマルシェを開催し那須町外、県外、国外から集客し那須町の活性化を図る。</p> <p>①「だっばら駅前マルシェ」の開催 開催日: 5/25,6/29,8/31,9/28 夕方から開催 場所: 黒田原駅前のカフェ(Café La Détente)ガレージ、藤田農場跡他 出店者: 農畜産物生産者、飲食店、食器などの食関連の商工業者など延べ80店舗が出店した。 来場者数は、天候にも左右されるが、延べ1,150名の方にお越しいただいた。 那須町の経済活性化のため、マルシェを足掛かりに黒田原地区に興味を持ってもらい県外、国外から黒田原に多くの方にお越しいただくことができた。今後は、知名度を上げるためにプレミアムフライデーに拘らず土曜日の夜の開催も検討したい。</p> <p>【平成31年度以降】 前年度の取組の検証・分析を踏まえ、事業を継続し、「自然に包まれたお洒落で住みたい街」を目指して活動する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標1】産業振興による活力ある地域戦略 【基本的方向】足腰の強い「農林業」の再生と生産物の高付加価値化 【KPI】農畜産物生産額 94億円(H26) → 113億円(H31)【H29は算出していないため実績なし】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	30年度	31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	だっばら駅前マルシェの開催	だっばら駅前マルシェの開催	だっばら駅前マルシェの開催		だっばら駅前マルシェの開催
事業費	1,098,000	545,000	1,000,000	2,643,000	1,000,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,000,000	465,000	500,000	1,965,000	0
うち県交付金	500,000	232,500	250,000	982,500	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	98,000	80,000	500,000	678,000	1,000,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり係
担当者名	赤羽根 初美
電話	0287-72-6935
FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasu.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	那須町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	だっばら駅前マルシェ	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
町支出金	465,000	交付金
出店料	80,000	1,000円×80店舗
計	545,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
消耗品費	50,500	30,500	15,250	20,000	ビニールクロス、出演者手土産代、コピー用紙等
手数料	41,175	41,175	20,587	0	新聞折込手数料、振込手数料
印刷製本費	77,004	77,004	38,502	0	チラシA4 10,750枚 カード(100×148)1,000枚
光熱水費	11,233	11,233	5,617	0	仮設電気使用料
広告料	32,400	32,400	16,200	0	毎日新聞掲載料
保険料	18,080	0	0	18,080	賠償責任保険
委託料	195,851	172,688	86,344	23,163	会場設置、屋台作成、機材運搬等
使用料及び賃借料	100,000	100,000	50,000	0	発電機、照明機器、音響機器
繰越金	18,757	0	0	18,757	次年度繰越金
計	545,000	465,000	232,500	80,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。
具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	那須町
事業名	黒田原夏まつり
事業主体の名称	黒田原夏まつり実行委員会
代表者の名称	大島 寛樹
事業主体の所在	那須町大字寺子丙1
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:黒田原夏まつりを推進(企画・実行)し、黒田原地区の経済・文化の向上に寄与することを第一の目的とし、定住移住の推進にも寄与する。 ・設立年月日:平成26年6月1日 ・構成員等:会員は団体の目的を理解し、その目的達成に向けて努力する者によって構成する。
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>黒田原地区は那須町役場、JR黒田原駅がある那須町の中心部である。特に駅前は、かつて商店が立ち並び多くの人が行き交う賑やかな場所であったが、現在は地方経済の衰退、少子高齢化による人口減少、若者の流出や後継者不足等により商店街、事業所の衰退を招いている。いかに一人ひとりが黒田原に誇りと愛着をもつことができるか、若者に伝統を継承していけるかが今後の課題である。高校生などの若い人たちに当日の祭り参加だけでなく、計画段階から取り組んでもらうことで、より地域への興味を持たせることに取り組む必要がある。</p>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・古き良きお祭りを再現することで、黒田原地区住民のコミュニティを図ること。 ・祭を開催することで黒田原の活性化を図ること。 ・同時開催される八雲神社のお神輿と連携することで、伝統文化を体現し黒田原地区の魅力を引き起こすこと。 ・若い人に参加を促し伝統文化の継承と若者の定住化促進に繋げること。
事業概要	<p>【平成30年度】 「黒田原夏まつり」の開催 開催日:7月28日 入込数:2,000人 場所:黒田原駅前通り 内容 <ul style="list-style-type: none"> ・黒田原駅前通りに提灯などの飾りつけをして、祭りを盛り上げることができた。華やいた雰囲気が街の活性化の象徴に繋げることができた。 ・各種イベント(路上ライブ、キッズダンス)を実施した。 ・地域住民による出店が多く並びコミュニケーションの効果が図られた。 ・同時開催される八雲神社お神輿には黒田原地区の事業者等の参加ができた。 ・準備段階として地域コミュニティの活性化のために定期的に実行委員会を開催し、意識の向上が図られた。 ・夏祭りの魅力を発信し、チラシ等を通じて活性化の活動を地域に普及できた。 ・地域コミュニティの活性化のために定期的に実行委員会を開催した。 ・夜の流し踊りを実行するための地域の伝統を再認識することができた。 夏まつりは1日だけの催し物ではあるが、その為の準備や打合せなどに時間をかけて取組むことで、祭りだけでなく黒田原地区全体のまちづくりについて考える機会にもなっている。今後も継続して黒田原のまちづくりに取り組んでいく。 【平成31年度以降】 前年度の取組の検証・分析を踏まえ、事業を継続する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標1】「那須」の魅力を最大限活用した地域戦略 【KPI】転入超過数(転入者数-転出者数) △59人(H26) → 300人(H31)【H28年度実績 41人】 【基本目標2】安心して確かな暮らしを営む地域戦略 【KPI】那須町に住み続けたいと思う住民の割合76.4%(H26)→80.0%(H31)【5年に1度のアンケート調査のためH28実績なし】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	29年度	30年度	31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	黒田原夏まつりの実施	黒田原夏まつりの実施	黒田原夏まつりの実施		黒田原夏まつりの実施
事業費	1,706,294	961,791	1,000,000	3,668,085	500,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,000,000	465,000	500,000	1,965,000	0
うち県交付金	499,999	232,500	250,000	982,499	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	706,294	496,791	500,000	1,703,085	500,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり係
担当者名	赤羽根 初美
電話	0287-72-6935
FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasu.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	那須町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	黒田原夏まつり	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
町支出金	465,000	交付金
繰越金	96,791	前年度繰越金
協賛金	400,000	40件
計	961,791	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	180,000	180,000	90,000	0	出演者謝礼、交通整理謝礼
消耗品費	37,561	37,561	18,780	0	ポリ袋、イベント材料(スイカ)、花火、電球
印刷製本費	149,904	149,904	74,952	0	ポスターB2 100枚、チラシA3 7,000枚
広告料	32,551	32,551	16,276	0	チラシ折込料 6,850枚@4.4
保険料	8,020	8,020	4,010	0	賠償責任保険
委託料	257,832	56,964	28,482	200,868	電気工事業務一式、会場設営費
備品購入費	58,569	0	0	58,569	法被購入 20着@7,500円
繰越金	237,354	0	0	237,354	次年度繰越金
計	961,791	465,000	232,500	496,791	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市 町 名	那須町
事 業 名	黒田原地区歴史文化啓蒙事業
事業主体の名称	黒田原地区地域づくり委員会
代表者の名称	本澤 栄春
事業主体の所在	那須町大字寺子丙3
事業主体の概要	団体の目的:地域の人々が自ら地域の課題を考え、町民と行政が相互理解による協働のまちづくりを推進する。 ・設立年月日:平成21年1月28日 ・構成員等:自治会長、自治公民館長、社会福祉協議会長、民生委員等
当該事業に係る地域の現状と課題	黒田原地区は、黒田原駅の開業と山田農場の開墾事業と共に発展してきた史実により文化財や名所が数多く点在していることから案内看板設置や、郷土史に関する学習会を実施してきた。この活動により地域を案内するボランティアが育ち、郷土の歴史・文化を内外に広めることができていた。しかし、長い歴史の理解は一朝一夕には難しく、郷土の歴史や文化の共通理解や、地域魅力の再認識には至っていない。今後は、さらに郷土を知り、見つめ直すことで郷土への誇りを持ち、郷土愛を育てることが課題となる。
事業目的	黒田原駅開業後125年の時を経て街並みを営々として築いてきた先人の苦労や心意気、生き様を、当時の写真展示により知ってもらい、郷土愛を呼び起こすと共に郷土愛を醸成する。 黒田原駅開業前から人々の暮らし(営み)が続いていた歴史の数々を探り、映像作品上映会を開催して地域民の多数参加を促し、賑わいの再生及び地域理解の深化を図る。また、小中学校との連携を密にし、上映会の開催を通じて啓蒙活動を実施し、郷土愛の醸成を図る。
事業概要	【平成30年度】 ・クロロとゆめな THE MOVIE2 ～黒田原と秘密の物語～ 映画作成依頼者とシナリオ表現等の修正及び検討について数ヶ月にわたり協議を行い「黒田原の歴史を知らない、これからの黒田原を担っていくであろう子どもたちや若い人たちが少しでも地元に興味、関心を持つきっかけづくりと地域愛の醸成に少しでも寄与する」という強い信念の元、撮影を行い完成させた。地域の拠点となる施設において試写会を実施した後、地区内の保育園、小中高等学校、町の図書館などに配布し、駅開業以前からの黒田原地区の歴史文化の啓蒙活動に利用して頂けるよう依頼をした。 配布先:黒田原小学校、那須中央中学校、栃木県立那須高等学校、黒田原第1保育園、黒田原第2保育園、那須町立図書館、那須町 作成本数:10本 ・黒田原地区開拓の祖 山田家の祖礼祭に参加し、地域との交流を積極的に行った。 【平成31年度以降】 H29年度に作成した写真集、DVD映画を活用した啓蒙活動を行う。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【基本目標1】「那須」の魅力を最大限活用した地域戦略 【KPI】転入超過数(転入者数-転出者数) △59人(H26) → 300人(H31)【H28年度実績 41人】 【基本目標2】安心で確かな暮らしを営む地域戦略 【KPI】那須町に住み続けたいと思う住民の割合76.4%(H26)→80.0%(H31)【5年に1度のアンケート調査のためH28実績なし】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	30年度	31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①写真集作成 ②DVD映画 作成 ③交流会開催	①写真集配布 ②低廉版写真集作成 ③DVD映画の作成			写真集DVD映画を活用 した啓蒙活動
事業費	881,940	465,000	0	1,346,940	0
市町支出金 (ソフト事業分)	881,940	465,000	0	1,346,940	0
うち県交付金	440,970	232,500	0	673,470	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	0
その他自主財源等	0	0	0	0	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり係
担当者名	赤羽根 初美
電話	0287-72-6935
FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasu.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	那須町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	黒田原地区歴史文化啓蒙事業	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
町支出金	465,000	交付金
計	465,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源		備考	
		市町支出額	自主財源等		
					県交付金
報償費	24,000	24,000	12,000	0	講師謝礼8,000円×3回
委託料	230,000	230,000	115,000	0	映像制作業務委託
	180,000	180,000	90,000	0	調査研究業務委託
使用料及び賃借料	31,000	31,000	15,500	0	映像試写会用機材レンタル料
計	465,000	465,000	232,500	0	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	那須町
事業名	池田地区ひまわりプロジェクト
事業主体の名称	池田地区地域づくり委員会
代表者の名称	井上 光成
事業主体の所在	那須町大字高久丙1680-3
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:地域の人々が自ら地域の課題を考え、町民と行政が相互理解による協働のまちづくりを推進する。 ・設立年月日:平成20年11月26日 ・構成員等:自治会長、自治公民館長、社会福祉協議会長、民生委員等
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>広谷地から池田の交差点の間に位置する「池田地区」はホテルもあり近年、観光客も増加している。地域づくり委員会としても、景観の魅力アップに努め「那須ヒオウギアヤメ」の保護、「お富士山」の整備等を行ってきた。「那須ヒオウギアヤメ」の植栽場所付近は、シーズンには写真撮影者が増加しているため、休耕田に「ひまわり」を植栽し、付近一帯の景観を維持し魅力ある観光資源としてPRしていく必要がある。</p>
事業目的	<ol style="list-style-type: none"> ①園地を借り受けて「ひまわりの植栽」を行い、春の「アヤメ」夏の「ひまわり」と連続した鑑賞可能な景観を作り観光資源とする。 ② 地域の子育て会、中学校、住民との共同作業を実施することで地域の交流を深める。 ③ ひまわりの種まきから搾油に至る一連の作業を通じ、地域としての社会貢献出来るという自覚の醸成を図る。
事業概要	<p>【平成30年度】 ひまわりの植栽 場所:一ツ縦地内の休耕田 規模:20アール 園地の整地⇒除草剤散布⇒施肥⇒耕作⇒種子の手播き⇒除草⇒開花(花の鑑賞)⇒種子採取⇒種子発送 ◎種子の発送先:NPO法人シャローム(福島県)で実施している「ひまわりプロジェクト」 「ひまわりプロジェクト」とは、各地から届いたひまわりの種を製品化し、広く障がい者支援に役立てる活動。</p> <p>【平成31年度以降】 前年度の実施状況を踏まえ、継続的に実施しひまわりの植栽規模を30アールに拡大する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標1】「那須」の魅力を最大限活用した地域戦略 【KPI】転入超過数(転入者数-転出者数) △59人(H26) → 300人(H31)【H28年度実績 41人】 【基本目標2】安心で確かな暮らしを営む地域戦略 【KPI】那須町に住み続けたいと思う住民の割合76.4%(H26)→80.0%(H31)【5年に1度のアンケート調査のためH28実績なし】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	30年度	31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	ひまわりの 植栽・採種	ひまわりの 植栽・採種			ひまわりの 植栽・採種
事業費	144,343	192,838	0	337,181	150,000
市町支出金 (ソフト事業分)	144,343	192,838	0	337,181	0
うち県交付金	72,171	96,419	0	168,590	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	0	0	0	0	150,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり係
担当者名	赤羽根 初美
電話	0287-72-6935
連絡先 FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasu.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	那須町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	池田地区ひまわりプロジェクト	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
町支出金	192,838	交付金
計	192,838	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
消耗品費	111,022	111,022	55,511	0	豚ぶん運搬謝礼、ビニールハウス消耗品等
燃料費	4,339	4,339	2,169	0	仮払機、軽トラ燃料代
通信運搬費	1,477	1,477	739	0	ひまわり種子送付料
保険料	36,000	36,000	18,000	0	傷害保険
使用料及び賃借料	40,000	40,000	20,000	0	整地、肥料散布10,000円×3回
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
計	192,838	192,838	96,419	0	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	那須町
事業名	高久地区歴史めぐりと自然散策事業
事業主体の名称	高久地区地域づくり委員会
代表者の名称	相馬 和至
事業主体の所在	那須町大字高久甲5175-3
事業主体の概要	・団体の目的:地域の人が自ら地域の課題を考え、町民と行政が相互理解による協働のまちづくりを推進する。 ・設立年月日:平成21年1月29日 ・構成員等:自治会長、自治公民館長、社会福祉協議会長、民生委員等
当該事業に係る地域の現状と課題	高久地区には多くの史跡があり、里山・田畑などの自然も豊かな地区である。しかし、近年少子高齢化が進み、地域の各種イベントなどへの参加者も減少傾向にある。そのため、安全・安心な地域づくりは不可欠であり、希薄になりつつある地域住民間の交流・コミュニケーションの醸成が課題となっている。
事業目的	地域内の史跡と里山・田畑を活用した歴史めぐりと自然散策ができる順路を整備し、散策会を実施する。地域の歴史や草花・野鳥などの自然の生き物に詳しい講師の指導による歴史めぐり、自然散策会に参加させ、地区の歴史や資源の理解深化により地域への誇りと郷土愛の醸成を図る。 地域内の休耕田を活用した稲作(もち米)の栽培を地域住民と学童で行い、お互いに触れ合う機会を持つことで、希薄になりつつある地域住民の関係を改善する。また、子どもから大人まで住民間の交流・コミュニケーションを活発化することで、地域全体の安全・安心の質の向上を図り、住み良い地域づくりに貢献する。
事業概要	【平成30年度】 (1)散策順路の整備 歴史めぐり、自然散策、生き物観察イベントの参加者の安全確保を目的とした散策路の整備を行い、看板、表示板などの設置、安全確保のため用水路に設置したロープの保守などを実施した。(6回) ①4月22日 15名 ②6月9日 18名 ③8月11日 19名 ④9月30日 2名 ⑤11月4日 9名 ⑥11月14日 7名 (2)歴史めぐりと自然散策、生き物観察会の実施 高久地区内に残された歴史的な史跡や草花、野鳥、川辺の生き物などの説明を受けながら史跡をめぐるとともに自然や生き物などを観察する会を実施した。(2回) ① 8月19日 自然観察と生き物(野鳥、水辺の生き物)観察、草花などを観察する会(参加者25名) ②11月15日 秋の自然散策と史跡めぐり会(参加者:高久小学校3学年18名、教諭、保護者など) (3)休耕田の活用(もち米の栽培、子ども育成会へのもち米の提供) 高久小学校の学童を中心に保護者も交えて田植えと稲刈り作業を実施し、収穫したもち米で餅つき大会を実施した。 ①田植え作業 6月10日学童100名、教諭、保護者、地域づくり委員会員40名で実施した。 ②古代米の刈取り 10月22日 1学年~4学年児童 教諭、地域づくり委員会員21名で実施した。 ③もち米の刈取り 10月28日 地域づくり委員会員18名で実施した。 ④高久小学校の子ども育成会による餅つき大会にもち米(90kg)、古代米(25kg)を提供した。 11月23日 高久小学校全児童 100名、保護者、地域づくり委員会員など約40名で実施した。 【平成31年度以降】 2年連続で実施したことにより、個々の会員の活動も円滑になっているが、各活動への協力者が減少してきている。継続的な活動には協力者や資金面などで不安があるが、地域住民間の交流、コミュニケーションを図るとともに地域への誇りと郷土愛の醸成に貢献できるように継続した事業の実施に努める。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【基本目標1】「那須」の魅力を最大限活用した地域戦略 【KPI】転入超過数(転入者数-転出者数) △59人(H26) → 300人(H31)【H28年度実績 41人】 【基本目標2】安心で確かな暮らしを営む地域戦略 【KPI】那須町に住み続けたいと思う住民の割合76.4%(H26)→80.0%(H31)【5年に1度のアンケート調査のためH28実績なし】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	30年度	31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①散策順路の整備 ②歴史めぐり、自然散策会 ③休耕田の活用	①観察順路の整備 ②史跡めぐり、自然観察会 ③休耕田の活用	①散策順路の整備 ②歴史めぐり、自然散策会 ③休耕田の活用		①観察順路の整備 ②史跡めぐり、自然観察会 ③休耕田の活用
事業費	937,707	430,343	487,000	1,855,050	22,000
市町支出金 (ソフト事業分)	937,707	430,343	465,000	1,833,050	0
うち県交付金	468,853	215,171	232,500	916,524	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	0	0	22,000	22,000	22,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり係
担当者名	赤羽根 初美
電話	0287-72-6935
FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasu.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	那須町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	高久地区歴史めぐりと自然散策事業	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
町支出金	430,343	交付金
計	430,343	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
消耗品費	88,560	88,560	44,280	0	インク、コピー用紙、軍手、草刈チップソー、農薬、ペンキ、米袋等
燃料費	9,102	9,102	4,551	0	混合ガソリン
原材料費	160,381	160,381	80,190	0	田植え用紐、角杭、コンパネ、草花等
印刷製本費	3,000	3,000	1,500	0	イベント、作業等写真代
通信運搬費	15,930	15,930	7,965	0	82円切手×189枚、送料
保険料	9,900	9,900	4,950	0	傷害保険 6名分
委託料	84,500	84,500	42,250	0	看板修理、下草刈り作業、もち米栽培、もち米玄米化作業
使用料及び賃借料	35,000	35,000	17,500	0	稲刈り機、田んぼ使用料
備品購入費	23,970	23,970	11,985	0	双眼鏡10個
計	430,343	430,343	215,171	0	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	那須町
事業名	那須高原芸術祭
事業主体の名称	那須高原作家協会
代表者の名称	瀧 昭典
事業主体の所在	那須町大字高久乙2905-45
事業主体の概要	<p>・団体の目的:本会を互いの作品の発表・情報交換・公開の場として大いに活用することにより地元アーティストを育成し、那須町のファンを獲得する。各団体、個人などからの依頼(書)公開及び募集。画廊、美術館、デパートなど個展、販売会の斡旋。</p> <p>・設立年月日:2001年4月12日</p> <p>・構成員等:宣言に同意し、作家又は志す者で町内在住者、又は町内に仕事場を持つ者。会員の推薦により委員会にて決議された者とする。</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>那須町における観光発信の中心となる高原エリアに芸術展示会場や音楽ホールが無いことにより、魅力的なアーティストの芸術発信の機会が十分に確保されていない。また、イベントを実施する際の2次交通が脆弱なことに加え、情報の発信方法も一方的になっているため、必要な情報が必要な方へ届いておらず、地元客や観光客を効果的に誘導できていない。さらに、町民が自由に発案するようなボトムアップイベントが発達していないため、学生や若手デザイナー、若手アーティストが活躍できる機会が少ない。事業実施により若手デザイナーや若手アーティストの活躍の場を増やし、那須町の新規ファンを獲得し、リピーター獲得へ向けた必要な情報を提供できる環境を整備して新たな人の流れを起し、地域経済の活性化を図ることが課題である。</p>
事業目的	<p>効果的な情報発信や二次交通の強化による夜間イベントへの誘導や若年層観光客など新規分野での顧客獲得に加え、観光客を迎え入れるおもてなし人材の育成をすることにより、那須町に人を呼び込み地域経済の活性化を図ることを目的とする。</p>
事業概要	<p>【平成30年度】 那須町を中心に組織している那須高原作家協会会員の作品展示、ワークショップ、地元の食の名店などと共同でアート系イベントを開催した。 実施日時:平成30年6月1日～6月30日(10:00～17:00) 場所:サッポロビール 森のビール園 オープニング時に那須高原クラシック音楽祭との協力で「弦楽亭弦楽オーケストラ」のプロの演奏者「芸者カルテット」さんによる演奏会を開催した。(300名ほどの方に参加をいただいた。) 那須の人気店「ベーグルクーポー」さんなどをはじめとしたスイーツ系のお店に出店協力をいただき、ご来場者へ特別価格で販売を行った。更には、那須町のボランティア協力者により「おもてなし」によるお客様サービスを実施した。 会員によるワークショップ、招待作家によるワークショップ、会員以外の作家に協力をいただき作品の展示などを行った。</p> <p>【平成31年度以降】 本格的なアート作品を見たり体験することにより那須町にも多くの作家がいることを知ってもらえる機会となり、作家の創作意欲にもつながった。また、那須の名店の販売協力が得られたことにより来場者にも喜んでもらえた。 自立した活動のためにパンマルシェやワインどぶろく特区などと連携した活動に向け取り組んでいく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標1】「那須」の魅力を最大限活用した地域戦略 【KPI】転入超過数(転入者数-転出者数) △59人(H26) → 300人(H31)【H28年度実績 41人】 【基本目標2】安心で確かな暮らしを営む地域戦略 【KPI】那須町に住み続けたいと思う住民の割合76.4%(H26)→80.0%(H31)【5年に1度のアンケート調査のためH28実績なし】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	30年度	31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	① 展示会の実施 ② 展示会のコラボレーション ③ ワークショップ ④ キャンドルナイトコンサート ⑤ 人材育成	① 展示会の実施 ② 展示会のコラボレーション ③ ワークショップ ④ 人材育成	① 展示会の実施 ② 展示会のコラボレーション ③ ワークショップ ④ 人材育成		
事業費	1,564,017	559,134	600,000	2,723,151	100,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,000,000	465,000	500,000	1,965,000	0
うち県交付金	499,999	232,500	250,000	982,499	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	564,017	94,134	100,000	758,151	100,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり係
担当者名	赤羽根 初美
電話	0287-72-6935
連絡先 FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasu.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	那須町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	那須高原芸術祭	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
町支出金	465,000	交付金
自己資金	94,134	芸術祭協賛金
計	559,134	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	160,000	160,000	80,000	0	講師謝礼、演奏謝礼
消耗品費	35,125	15,125	7,562	20,000	インク代、事務用品、USB、ワークショップ材料費
印刷製本費	64,671	64,671	32,336	0	ポスター、フォトブック
原材料費	25,558	0	0	25,558	新聞折込手数料
広告費	53,780	53,780	26,890	0	インターネットHP広告
委託料	140,000	131,424	65,712	8,576	会場設営、会場整理員委託、会場コーディネーター費
使用料及び賃借料	80,000	40,000	20,000	40,000	会場使用料、搬入搬出車両借上げ
計	559,134	465,000	232,500	94,134	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市 町 名	那須町
事 業 名	あかりキッチン
事業主体の名称	あかりキッチン
代表者の名称	川崎 ノブ子
事業主体の所在	那須町大字高久丙5375-2
事業主体の概要	<p>・団体の目的:地域社会における独居高齢者及び日中独居高齢者、また食事作りが不自由な高齢者世帯と食を通して交流し健康増進、改善を促進し、高齢者が笑顔をふやし、生きがいを見出すこと、これに高齢者の見守りもかねて行うこと。</p> <p>・設立年月日:平成28年7月1日</p> <p>・構成員等:那須町大島地区内に居住する町民</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>急速な高齢化が進み、ひとり暮らしの高齢者や日中をひとりで過ごす高齢者が増えている。寝たきりや認知症を予防し健康寿命を延ばすためにも、高齢者が他者と交流できる場が必要であるが、そのような場が少ない。</p> <p>さらに、高齢者は硬いものなどの食べにくい物を避け、栄養が偏る傾向がある。食事作りが不自由であったり外出困難な高齢者も増えている。健康の基本である食を通して、他者との交流の場を広げ、だれもが住み慣れた地域で安心して自立した生活を送れるようにすることが課題となっている。</p> <p>また、大島地区の子どもが通う小学校近くに、放課後児童クラブをH28年中に建設した。夏休み等の長期休みも子どもの受け入れを行うが、学校給食が休みになるため、毎日の昼食作りは働く保護者には大きな負担になる。安心で快適な子育て環境を提供するためにも保護者の負担を軽減することが必要である。</p>
事業目的	<p>高齢者の寝たきりや認知症予防のため、他者と交流、調理、食事を通して健康状態、栄養状態の把握や日常生活の変化などを感知する。また、食事作りが不自由又は外出が困難な高齢者に見守りを兼ねてお弁当宅配を行うことにより、高齢になっても安心して住み続けられる地域を目指す。更には食を通じた交流会、見守り宅配を高齢者が行うことで自らの介護予防に繋げる。</p> <p>・小学校や放課後児童クラブと連携し、夏休み中の昼食づくりをすることで、働く保護者の負担を軽減し、安心で快適な子育て環境を提供することにより大島地区の定住促進にも寄与する。</p>
事業概要	<p>【平成30年度】</p> <p>①「食事交流会」の実施 内 容:一人暮らしの高齢者と他者との交流、栄養指導、日常生活の変化等の感知。 実施日:毎月30日 12回開催 延べ420名の参加 (場所:穂積公民館)</p> <p>②「見守りを兼ねたお弁当宅配」の実施 内 容:食事作りが不自由または外出困難な高齢者を対象に見守りを兼ねて定期的な弁当宅配。 実施日:毎週火曜日 12か月×4回=48回 総計1,180個</p> <p>③「放課後児童クラブの昼食づくり」の実施 内 容:長期休み期間の昼食づくり(実施日:4月、7月、8月、3月 毎週水曜日 総計92個)</p> <p>【平成31年度以降】</p> <p>食事交流会は3年を迎え参加者同士の交流も増え、参加者同士の見守りも自然と行えるようになってきている。見守り弁当は日中会話の無い高齢者が、お弁当を待ちながらスタッフとの会話も楽しみにしてくれており、信頼関係も構築されている。町からの支援は終了となるが、地域の高齢者の笑顔が増えるよう食事交流会、見守り弁当、学童保育給食を継続して実施していく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標1】安心で確かな暮らしを営む地域戦略 【基本的方向】健康寿命の延伸と住み慣れた地域での生活の継続 【KPI】那須町に住み続けたいと思う住民の割合 76.4%(H26) → 80.0%(H31)【5年に1度のアンケート調査のためH28実績なし】</p> <p>【目標2】子育て世代に選ばれる地域戦略 【基本的方向】出産・子育ての負担軽減 【KPI】合計特殊出生率 1.39(H26) → 1.48(H31)【H27年度実績1.44】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①食事交流会の実施 ②研修会への参加	①食事交流会の実施 ②見守り弁当配布	①食事交流会の実施 ②見守り弁当配布 ③放課後児童クラブの 昼食提供		①食事交流会の実施 ②見守り弁当配布
事業費	200,600	945,725	1,016,110	2,162,435	516,000
市町支出金 (ソフト事業分)	116,600	500,000	465,000	1,081,600	0
うち県交付金	58,300	250,000	232,500	540,800	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	84,000	445,725	551,110	1,080,835	516,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり係
担当者名	赤羽根 初美
電話	0287-72-6935
FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasu.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	那須町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	あかりキッチン	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
町支出金	465,000	交付金
前年度繰越金	34,310	
参加費	126,000	300円×420人
見守りお弁当	354,000	300円×1,180個
学童保育給食	36,800	400円×92個
計	1,016,110	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
旅費	3,960	3,960	1,980	0	研修会旅費
消耗品費	669,724	363,206	181,603	306,518	食材、食器資材、チラシ用紙
光熱水費	52,844	41,988	20,994	10,856	光熱水費(あかりキッチン)
燃料費	60,000	0	0	60,000	ガソリン代
手数料	38,880	38,880	19,440	0	検便
通信運搬費	1,416	1,416	708	0	郵送料
保険料	3,150	3,150	1,575	0	保険料(食中毒)
使用料及び賃借料	36,000	6,000	3,000	30,000	カラオケ使用料
負担金	6,400	6,400	3,200	0	研修会参加費
報償費	72,000	0	0	72,000	スタッフ6名×1,000円×12回
交際費	6,000	0	0	6,000	慶弔費
繰越金	65,736	0	0	65,736	次年度繰越
計	1,016,110	465,000	232,500	551,110	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県がまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	那須町
事業名	那須・地ビール祭り2018
事業主体の名称	那須・地ビール祭り2018実行委員会
代表者の名称	小山田 孝司
事業主体の所在	那須町大字高久甲3986
事業主体の概要	<p>・団体の目的:日本各地の地ビール醸造業者と共催し自然豊かなロイヤルリフト那須と、那須のブランド力を高めるため農・商・観連携事業のイベントを開催し、地域の新たな魅力づくりにつなげる。また、地域の人々に潤いを還元する、イベントの開催日程を二日間とすることで、旅行客の滞在が長くなり(宿泊・観光・飲食)と地域の経済活動を活性化させていく。</p> <p>・設立年月日:2015年4月1日</p> <p>・構成員等:本会は当該区域内(那須町)に居住する人、及び事務所等を設置している人、及び那須を愛する人をもって構成する。</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>那須町の基幹産業は観光業(宿泊・テーマパーク等)であるが、東日本大震災以降、観光客数は減少し、未だ震災前の数値に観光客数が回復していない。特に宿泊人数の伸びが弱い状況にある。</p> <p>こうした状況をうけ、宿泊客の増加を図り、那須地域を周遊させる仕組みを作ることにより、観光業の底上げをし、地域経済を活性化させていくことが必要となっている。</p>
事業目的	<p>関東近県の観光客をターゲットとしてテーマパークを観光して帰る那須の周遊コースを作り、観光産業の増売、活性化(宿泊・テーマパーク)を図る。また、那須町と共同開催し、地元食材(那須和牛)のPRを図る。</p> <p>更に外国語に対応したホームページでの情報発信、旅行会社への売り込みを行い、訪日外国人旅行者(インバウンド)の誘致を図る。</p>
事業概要	<p>【平成30年度】</p> <p>①那須・地ビール祭り2018の開催(9月1日(土)2日(日))</p> <p>※2日は那須地区文化協会と連携し「那須地区郷土芸能フェスティバル」を開催した。</p> <p>場所:余笹川ふれあい公園 入込数:7,500人(目標8,000人と比較△500人)</p> <p>出店数:全国の地ビール醸造会社17社、飲食店18社が出店した。</p> <p>JR黒田原駅、JR黒磯駅からイベント会場までを送迎する無料バスを運行した。</p> <p>②情報の発信</p> <p>新聞折込:22,850部(那須町・那須塩原市・大田原・白河市)</p> <p>一般配布:2,150部、ポスターB2全判120部配布</p> <p>ホームページを作成し、SNS、ラジオ、新聞などにより事前告知を実施した。</p> <p>③関連団体との連携</p> <p>宿泊施設:地ビール祭り宿泊プランの販売(お得なビール前売りチケット券付き)を那須旅館組合に依頼したが、PR不足とPR期間中が夏休み期間中で多忙であったことから説明等が行えず実績が無かった。次年度以降は説明およびチラシの作成を早期に実施する。</p> <p>旅行会社:地ビール祭り満喫プランの販売(国内外向け)については、はとバス、JTB各社の事前宿泊予約確保が困難であり集客に結び付かなかつた。次年度企画は前年度冬から各社向けに営業を開始する。</p> <p>【平成31年度】</p> <p>前年度の実施状況を踏まえ継続的に実施する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標1】産業振興による活力ある地域戦略</p> <p>【基本的方向】観光産業の振興と交流人口の拡大</p> <p>【KPI】観光(宿泊・日帰り)総消費額 422億円(H26) → 482億円(H31)【H27年度実績439億円】</p> <p>【KPI】観光客入込数 4,707,029人(H26) → 5,400,000人(H31)【H27年度実績4,802,208人】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	30年度		支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①那須・地ビール祭り 2017の開催 ②情報発信 ③関連団体連携	①那須・地ビール祭り 2018の開催 ②情報発信 ③関連団体連携			①那須・地ビール祭り開 ②情報発信 ③関連団体連携
事業費	2,945,032	2,438,376		5,383,408	2,565,000
市町支出金 (ソフト事業分)	500,000	465,000		965,000	0
うち県交付金	250,000	232,500		482,500	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0		0	0
うち県交付金	0	0		0	
その他自主財源等	2,445,032	1,973,376	0	4,418,408	2,565,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり係
担当者名	赤羽根 初美
電話	0287-72-6935
FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasu.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	那須町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	「那須・地ビール祭り2017」	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
町支出金	465,000	交付金
寄付金	412,564	22社×10,000円、7社×20,000円ほか
出店参加費	455,000	35社×13,000円
出店販売手数料	535,812	35社(売上額の10%)
前売り券売上	570,000	2,000円×285セット(前売り割引ビール券11枚綴り)
計	2,438,376	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	10,000	0	0	10,000	司会者出演料
消耗品費	82,128	0	0	82,128	氷代金(サーバー用)他
燃料費	3,338	0	0	3,338	保冷車燃料 27,592
食糧費	9,583	0	0	9,583	お茶、弁当代
印刷製本費	259,580	100,000	50,000	159,580	ポスターB2判100枚、チケット700枚、チラシ10,000枚
通信運搬費	1,440	0	0	1,440	120円×12通
広告費	119,657	0	0	119,657	折込広告費22,850枚
保険料	16,000	0	0	16,000	賠償責任保険、傷害保険
委託料	1,277,394	365,000	182,500	912,394	会場設営業務一式617,436円 電気設備業務一式172,800円 警備業務一式168,998円 音響設備一式100,000円 バス運行業務一式201,960円 ごみ収集業務一式16,200円
使用料及び賃借料	41,256	0	0	41,256	保冷車レンタル
払戻金	618,000	0	0	618,000	前売りチケット払戻し 200円×3,090枚
計	2,438,376	465,000	232,500	1,973,376	

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県がまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	那須町
事業名	「傾聴と在宅支援」による地域支え合い事業
事業主体の名称	傾聴と在宅支援のボランティア・のぼらん
代表者の名称	竹原 典子
事業主体の所在	那須町大字高久甲496-12
事業主体の概要	<p>・団体の目的:傾聴と在宅支援のボランティアを必要とする人たちのための活動を行う。</p> <p>・設立年月日:平成25年4月1日</p> <p>・構成員等:本会の目的に賛同し、原則として傾聴ボランティア養成講座または、傾聴研修会を修了した者で、本会のボランティア活動に参加する者(平成28年9月1日現在8名)</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>那須町の高齢化率は、平成27年10月に県内ワースト2位(33.8%)となり、その後も上昇し、平成28年9月1日現在で35.1%となり、全国よりも20年早く高齢化が進み、それに伴う介護需要が急増している。特に、在宅介護を必要とする高齢者が増え、介護する家族等の負担感は大変厳しいものとなっている。介護する側は、介護の悩みを共有できる人がいない、あるいは家族の理解がないことで不安が募り、一方、介護を受ける側は、認知症で意思疎通がうまくできないなど、双方が心身ともに疲れ果てている状況となっており、地域福祉を支える基盤が揺らいでいる。そのため、地域の支え合いや交流の機能を維持し、住み慣れた地域でできる限り自分らしく暮らし続けられるように、いかにして地域コミュニティを支える人材を支援していくかが課題となっている。</p>
事業目的	<p>在宅介護をしている方などが、「傾聴」に関する技術を学ぶことで、他者への理解や介護の現場で活用してもらう。介護する方同士の悩みなどを共有する交流会を開催することにより、地域とのつながりを促進し、介護者の負担感を和らげる。地域を支える人材を支援・育成することで、地域を支え合う仕組みをつくる。</p>
事業概要	<p>【平成30年度】 高齢化社会の中で「傾聴と在宅支援のボランティア」を続けるための講演会と研修会を開催した。 ①講演会「老いとともに迎える人生の仕舞い方」 6月23日(土)ゆめプラザ・那須に於いて 138名参加 講師 石飛幸三氏(医師) 人生の最期について、自分自身の問題として捉えなおし、暗いこととしてだけでなく、これからの人生に対して希望を持つ方が多かった。医師からの具体的事例として、終末期の在り方をスライド映像で説明を受けたことは、事実の重みと共に老いることと最期の迎え方に対して、多くの参加者の方が新し気づきと意識を得られたと感じる。 ②研修会「傾聴ボランティア養成研修会」 9/20,9/27,10/5,10/10の全4回20時間 ゆめプラザ・那須に於いて 23名参加 講師 NPO法人ホールファミリーケア協会(東京) 山田豊吉氏 傾聴という普通の会話の中で「聞く」と違ふ「聴き方」を学ぶことで相手との関係を意識し、これまでの自身の在り方を振り返る方が多かった。スキルを学びながら、いつしか人と人のつながりの中で温かな人間観への道を知ることにもなり、傾聴を学びながらボランティアとしての基本姿勢、人としての在り方を模索する機会となった。 ③ケア(介護)する人たちのためのケアラズカフェを開催 家族を介護する人同士が日頃の精神的緊張や疲れを互いに話し合い寛げる場となるよう傾聴的に支えた。 【平成31年度以降】 高齢化社会の中で「傾聴と在宅支援のボランティア」を続けるためには、信頼できる講師に傾聴を学び、会員同士が話し合いながら実践を続けることが大切である。ボランティア活動の中で気づくこと、教えていただいたことなどを地域の方々に発信し地域の方たちと共に支え合い、繋がり合えるよう会の活動を進めていきたい。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】安心で確かな暮らしを営む地域戦略 【基本的方向】健康寿命の延伸と住み慣れた地域での生活の継続 【KPI】那須町に住み続けたいと思う住民の割合76.4%(H26)→80.0%(H31)【5年に1度のアンケート調査のためH28実績なし】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 研修会 エンディングノートの作成、配布 ケアラズカフェ 	<ul style="list-style-type: none"> 研修会 講演会 エンディングノートを書きながら話す集い ケアラズカフェ 	<ul style="list-style-type: none"> 研修会の開催 講演会の開催 ケアラズカフェの開催 学習会の開催 		<ul style="list-style-type: none"> エンディングノートを書きながら話す集い ケアラズカフェ
事業費	602,207	637,386	616,083	1,855,676	43,200
市町支出金(ソフト事業分)	488,497	500,000	465,000	1,453,497	0
うち県交付金	244,248	250,000	232,500	726,748	
市町支出金(ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	113,710	137,386	151,083	402,179	43,200

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり係
担当者名	赤羽根 初美
電話	0287-72-6935
FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasu.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	那須町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	「傾聴と在宅支援」による地域支え合い事業	
対象年度	30	年度

1 収入の部

(単位:円)

科目	予算額 (精算額)	備考
町支出金	465,000	交付金
繰越金	101,281	前年度繰越金
会費	30,000	
雑収入	19,802	寄附金、野の花、利子等
計	616,083	

2 支出の部

(単位:円)

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	415,600	415,600	207,800	0	研修会謝礼345,600円(4回分) 講演会謝礼70,000円
旅費	46,480	46,480	23,240	0	研修会、講演会講師旅費
食糧費	26,260	2,920	1,460	23,340	講師昼食代
使用料及び賃借料	1,600	0	0	1,600	文化センター使用料
印刷製本費	24,653	0	0	24,653	研修会チラシ、資料 講演会チラシ、資料 記録CD
消耗品費	14,759	0	0	14,759	コピー用紙、封筒、水、供花など
保険料	4,200	0	0	4,200	ボランティア保険
手数料	1,432	0	0	1,432	振込手数料、イベント出店手数料
繰越金	81,099	0	0	81,099	次年度繰越金
計	616,083	465,000	232,500	151,083	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県がまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	那須町
事業名	障がい者アートを活用した地域づくり
事業主体の名称	つながるひろがるアート展Nasu実行委員会
代表者の名称	伊藤七男
事業主体の所在	那須町大字豊原乙1189
事業主体の概要	・団体の目的:那須在住のハンディキャップのある作家たちが描いた絵画を通して芸術の素晴らしさを地域住民や観光客へ周知する。 ・設立年月日:平成20年4月1日 ・構成員等:「つながるひろがるアート展Nasu」の開催主旨に賛同し協力できる企業、団体、個人
当該事業に係る地域の現状と課題	那須地域は障がい者アートに触れる機会がなく、障がい者の芸術的な才能を知る機会がない。また、那須地域の福祉施設等でも絵を描く機会が少ない。幼いころから障がい者アートに触れる機会をつくり、多様な価値観や豊かな人間性を育む必要がある。いかにして障がいの有無に関わらず人と人がつながり、それを広げていくか、またアート活動を通して障がい者が積極的に社会に参加、貢献できるようにしていくかが課題である。
事業目的	・アート展、ワークショップ、カレンダーを通じて、那須地域の人のみならず那須を訪れる観光客も障がい者への理解を深めるきっかけをつくるとともに、障がい者自身の優れた才能を発掘し、積極的に社会に参加、貢献できる地域をつくる。 ・障がいの有無に関わらず、人と人がつながり、それを広げていく地域づくりを目指すことで誰もが住みやすいまちを作る。 ・障がい者アートが魅力的な地域資源であることを認識してもらうことで、積極的な活用を図り、新たな人の流れをつくる。
事業概要	【平成30年度】 ①第10回つながるひろがるアート展Nasu開催(11月3日～25日実施) 目的:障がい者アートに触れる機会の提供 対象者:那須地域の住民・観光客 場所:那須地域14展示会場(ホテル等) ②ホームページ(つながるひろがるアート展)の作成(11月) ・つながるひろがるアート展を知らない全国の方々に関心を持ってもらうことができた。 ・ホームページ制作会社に委託したことでURLにも信頼性があり、デザインが一新して若年層にも好評を得た。 ・フェイスブックやYouTube動画も並行して表示させることにより最新の情報が閲覧可能とした。 ③カレンダーの制作・販売 ・3年間制作販売及び販売したことにより、地域の方々につながるひろがるアート展の素晴らしさを認識してもらうことができた。 ・企業の社名入りカレンダー制作など新たな取組みも行い50部から100部単位で購入してもらうこともできた。 ・全国の障がい者アートに携わる福祉施設等に配布することで、つながるひろがるアート展を知ってもらう機会となった。 ・次年度以降の、つながるひろがるアート展の運営資金を確保することができた。 ④展示会と展示協力 年間を通し、アーカーシャー展など9展示会への展示協力を行った。 【平成31年度以降】 ・前年度の取組の検証・分析を踏まえ、事業を継続する。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【目標1】「那須」の魅力を最大限活用した地域戦略 【基本的方向】「那須にしかない」地域資源を活用した魅力ある地域戦略 【KPI】転入超過数(転入者数-転出者数) △59人(H26) → 300人(H31) 【H28年度実績 41人】 【目標2】子育て世代に選ばれる地域戦略 【基本的方向】特色ある教育による成長の支援と教育の充実 【KPI】合計特殊出生率1.39(H26) → 1.48(H31) 【H27年度実績1.44】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①障がい者アート展の開催及び関連イベントの開催 ②各団体主催のイベントへの出展 ③イラスト集、カレンダーの作成、配付	①障がい者アート展の開催及び関連イベントの開催 ②各団体主催のイベントへの出展 ③カレンダー配付	①障がい者アート展の開催 ②作品と音楽のコラボレーション ③ホームページの作成 ④カレンダー制作・販売		
事業費	1,640,765	1,098,557	1,359,451	4,098,773	140,000
市町支出金 (ソフト事業分)	998,760	498,816	464,970	1,962,546	0
うち県交付金	499,380	249,408	232,485	981,273	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	642,005	599,741	894,481	2,136,227	140,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり係
担当者名	赤羽根 初美
電話	0287-72-6935
連絡先 FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasu.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	那須町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	障がい者アートを活用した地域づくり	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
町支出金	464,970	交付金
繰越金	297,077	
名前入りカレンダー	150,000	50部 25,000円×6団体
カレンダー・バッチ販売	240,400	店舗販売
イベント協力代	3,000	なすび祭
展示会協賛金	200,000	1口5,000円 企業・展示施設・個人25組より
絵画販売手数料	4,000	絵1枚10,000円 2枚販売
利子	4	
計	1,359,451	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市町交付金	県交付金		
報償費	100,000	0	0	100,000	カレンダーデザイナー・写真データ管理者 50,000円×2名
消耗品費	84,273	0	0	84,273	額縁用マット、色鉛筆、サインペン、グッズ販売用のPP袋等
食糧費	17,282	0	0	17,282	委員会、イベント時の飲み物等
印刷製本費	451,100	165,000	82,500	286,100	A2ポスター50部13,500円、A4チラシ4000部、はがきDM200部23,652円、作品カレンダー212.5円×1,800部
通信運搬費	3,874	0	0	3,874	切手、送料
委託料	299,970	299,970	149,985	0	ホームページ制作一式
備品購入費	81,248	0	0	81,248	缶バッチ作成機械
繰越金	321,704	0	0	321,704	次年度繰越金
計	1,359,451	464,970	232,485	894,481	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	那須町
事業名	ホテルの里づくり事業
事業主体の名称	芦野地区地域づくり委員会
代表者の名称	田中良夫
事業主体の所在	那須町大字芦野1332
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:地域の人が自ら地域の課題を考え、町民と行政が相互理解による協働のまちづくりを推進する。 ・設立年月日:平成20年11月21日 ・構成員等:自治会長、自治公民館長、社会福祉協議会長、民生委員等
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>那須町は、自然豊かなリゾート地として人気があり、移住希望者も少なくはないが、芦野地区は那須の人気のエリアから離れており、若者の流出、高齢化が進み、将来的な地区機能の低下が懸念されている。芦野地区は豊かな自然を有しホテルが生息する環境であるが、住民は当たり前のごとし特別な魅力であると認識していないが、数十年前に比べホテルの鑑賞場所が減少しているという声があった。これを機会に、いかにして住民自らが地域の魅力を認識し、ホテルの生息地を守り人を呼び込んでいくかが課題となっている。</p>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ホテルが生息する環境を活かし、発展させ、「ホテルの里」をつくる。 ・住民自身に地域の魅力を認識してもらう。 ・芦野地区の魅力(「ホテルの里」)を外にPRし、移住定住を促す。
事業概要	<p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホテルの里づくり事業を実施した。(6月23日 18時～ 参加者11名) ①ホテル飼育学習会(講師:なかがわ水遊園 目野先生) ②ホテルえさ(カワニナ)生息地の環境調査 ③ホテルの成虫放流箇所飛翔調査・観察会 峰岸地区、黒川地区 ④飼育用ホテル捕獲(ゲンジホテル) ・ホテル生息地の環境調査を実施した。(6月28日 19時40分～ 調査者4名) ・ホテル幼虫の産卵、孵化の飼育を行った。(6月23日～) <p>【平成31年度以降】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度の取組の検証・分析を踏まえ、事業を継続する。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標1】「那須」の魅力を最大限活用した地域戦略 【基本的方向】「那須にしかない」地域資源を活用した魅力ある地域戦略 【KPI】転入超過数(転入者数-転出者数) △59人(H26) → 300人(H31) 【H28年度実績 41人】 【目標2】安心して確かな暮らしを営む地域戦略 【KPI】那須町に住み続けたいと思う住民の割合76.4%(H26) → 80.0%(H31)【5年に1度のアンケート調査のためH28実績なし】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①ホテルの目撃情報調査、飛翔調査 ②学習会を開催 ③生息地の清掃、整備	①環境調査、環境整備 ②ホテル飼育 ③鑑賞会を開催 ④飼育学習会を開催	①環境調査・飛翔調査 ②ホテル飼育学習会 ③ホテル観賞会 ④ホテルの餌飼育 ⑤ホテルの里のPR		①保護活動、環境整備 ②ホテルの里をPR
事業費	65,141	105,413	79,688	250,242	0
市町支出金 (ソフト事業分)	65,000	105,413	79,688	250,101	0
うち県交付金	32,500	52,706	39,844	125,050	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	141	0		141	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり係
担当者名	赤羽根 初美
電話	0287-72-6935
連絡先 FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasu.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	那須町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	ホテルの里づくり事業	
対象年度	30	年度

1 収入の部 (単位:円)

科目	予算額 (精算額)	備考
町支出金	79,688	交付金
計	79,688	

2 支出の部 (単位:円)

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	10,000	10,000	5,000	0	講師謝礼10,000円×1回
消耗品費	69,688	69,688	34,844	0	ホテル飼育用品、飼育記録用 消耗品、カワナナ餌、ホテル
計	79,688	79,688	39,844	0	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	那須町
事業名	ミツマタ群生地周辺整備事業
事業主体の名称	伊王野地区地域づくり委員会
代表者の名称	伊藤 弘
事業主体の所在	那須町大字伊王野1574
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:地域の人々が自ら地域の課題を考え、町民と行政が相互理解による協働のまちづくりを推進する。 ・設立年月日:平成20年10月16日 ・構成員等:自治会長、自治公民館長、社会福祉協議会長、民生委員、地区住民 等
当該事業に係る地域の現状と課題	伊王野地区は道の駅をはじめ、昔から自然に囲まれた名所旧跡があり歴史と伝統ある地区である。伊王野城山西側には、2月から5月頃にかけて黄色い花を咲かせる「ミツマタ」の群生地があるが、そこに向かう山道は非常に狭く、手入れがされず荒れている。また、伊王野地区を訪れる方のほとんどは車を利用しているが、駐車場もないため、うまく誘客することができていない。今後の課題としては、ミツマタ群生地へ続く道や駐車場を整備し、春の桜や椿、ツツジの花が咲き誇る伊王野城山公園と併せて観光資源としていく必要がある。
事業目的	地域住民自らが、ミツマタ群生地の環境や取付道の整備に携わることで地域資源を最大限活用し、地域資源に触れ、地域住民の自然環境の保全意識の醸成、郷土愛の醸成を図る。また、花の開花時期が重なる伊王野城山公園と併せてPRすることで、観光誘客の相乗効果を図り、交流人口の増加をねらう。
事業概要	<p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 事業の内容や作業についての打合せや事業効果を確認するなど委員会を開催した。 ② 倒木処理や草刈り、植栽などの環境を整備した。 (下草刈、遊歩道整備準備 6月10日実施 下草刈 8月19日実施 ミツマタ移植 2月24日実施) ③ 舗装工事や型枠外しなど道路の整備を実施した。 (舗装工事型枠取付 7月17日実施) ④ 砂利敷流失防止枕木敷設による遊歩道の整備を実施した。 (遊歩道整備 10月14日実施) <p>【平成31年度以降】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度の取組の検証・分析を踏まえ、事業を継続する。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標1】「那須」の魅力を最大限活用した地域戦略 【基本的方向】「那須にしかない」地域資源を活用した魅力ある地域戦略 【KPI】転入超過数(転入者数-転出者数) △59人(H26) → 300人(H31) 【H28年度実績 41人】</p> <p>【目標2】安心で確かな暮らしを営む地域戦略 【KPI】那須町に住み続けたいと思う住民の割合 76.4%(H26) → 80.0%(H31) 【5年に1度のアンケート調査のためH28実績なし】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①道路拡張整備 ②環境整備、植栽	①委員会開催 ②環境整備、植栽 ③駐車場整備 ④U字溝設置 ⑤案内看板設置 ⑥道路整備	①委員会開催 ②環境整備、植栽 ③道路整備 ⑦遊歩道整備 ⑧ミツマタ群生地PR		①委員会開催 ②環境整備、植栽
事業費	527,989	499,429	463,800	1,491,218	30,000
市町支出金 (ソフト事業分)	527,989	499,429	463,800	1,491,218	
うち県交付金	263,994	249,714	231,900	745,608	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	0	0	0	0	30,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり係
担当者名	赤羽根 初美
電話	0287-72-6935
連絡先 FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasu.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	那須町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	ミツマタ群生地周辺整備事業	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
町支出金	463,800	交付金
計	463,800	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
保険料	9,800	9,800	4,900	0	保険料 33人分
原材料費	276,435	276,435	138,217	0	生コン、ワイヤーメッシュ、砂利、丸太、パイプ
委託料	177,565	177,565	88,783	0	バックホウでの道路整備や生コン運搬など
計	463,800	463,800	231,900	0	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	那須町
事業名	大島ふれあい田んぼアートづくり事業
事業主体の名称	大島地区地域づくり委員会
代表者の名称	平山幸昭
事業主体の所在	那須町大字漆塚732
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:地域の人が自ら地域の課題を考え、町民と行政が相互理解による協働のまちづくりを推進する。 ・設立年月日:平成20年12月1日 ・構成員等:自治会長、自治公民館長、社会福祉協議会長、民生委員等
当該事業に係る地域の現状と課題	大島地区では、地域住民が集う憩いの場として、河川公園の整備や余笹川流域の環境保全等、地域内の整備に取り組んできたが、地域外との交流はなかった。そこで、河川公園等の維持管理や利活用のため、こどもからお年寄りまで世代を越えた地域住民が主体となる大島ふれあい祭りを開催し、地域住民の一体感を培ってきた。しかし、依然として住民の地域外への流出が続いており、今後どのようにして郷土愛を醸成するかが課題となっている。
事業目的	町民主体のイベントである「大島ふれあい祭り」に併せて、田んぼアート、地域のマスコットキャラクターを作り、田んぼアート開催とまつり開催日を同時期にすることにより、まつりをさらに盛り上げ、町民の地域に対する愛着と一体感の更なる醸成を図り、さらには町内外からの参加者・見学者が増加することで住民の自信につなげ、住民の町外流出を抑制する。 また、地域資源を活用するため、田んぼは休耕田を使用する。
事業概要	<p>【平成30年度】</p> <p>①田んぼアートづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・苗作り、圃場整備、田植え、除草管理を行った。 4/14 種子消毒(未消毒種子購入) 4/25田んぼアート図面作成 5/6 種まき 5/15 田んぼ耕起 5/25 荒代 5/29 植代 6/4 しまたん図柄輪郭部田植え、殺菌、殺虫剤散布 6/12,13,17 全体図柄田植(小学生手伝いあり) 6/15 看板作成 6/20,27 除草剤散布 8/14 いもち病予防防空散依頼 ・環境整備(圃場周りの草刈り、観覧席の補修)を行った。 ・田んぼアート公開を9月1日～10月末日まで実施し、11月28日に稲刈りを行った。 ・大島ふれあい祭りと同時期に公開することで、来場者数をより多くすることを見込んだ。 ・米は食用ではないため、刈取り後業者に引き取ってもらった。 ・稲が病気になる出来があまり良くなかったが、全ての地域づくり委員会のメンバーが関わったことから親睦も図られ、新たなメンバーも増え地域振興に貢献できたと思う。 <p>②マスコットキャラクター「しまたん」が各催し物へ参加し、地域の魅力をPRした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動会などの小学校行事や敬老会などの地域行事、県内外のイベントへ参加し、元気な大島地区をアピールした。 <p>【平成31年度以降】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いもち病を発生させてしまったことから、一時稲作りを休み、河川公園に花壇を作成し、今後も継続した憩いの場づくりを実施していく。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標1】「那須」の魅力を最大限活用した地域戦略</p> <p>【基本的方向】「那須にしかない」地域資源を活用した魅力ある地域戦略</p> <p>【KPI】転入超過数(転入者数-転出者数) △59人(H26) → 300人(H31) 【H28年度実績 41人】</p> <p>【目標2】安心して確かな暮らしを営む地域戦略</p> <p>【KPI】那須町に住み続けたいと思う住民の割合 76.4%(H26) → 80.0%(H31) 【5年に1度のアンケート調査のためH28実績なし】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①田んぼアート作り ②観覧場作成 ③環境整備 ④マスコットキャラクター作成、地区PR	①田んぼアート作り ②しまたん活動 ③ふれあい祭り開催	①田んぼアート作り ②しまたん活動 ③ふれあい祭り開催		①ふれあい祭り開催 ②しまたん活動
事業費	922,998	796,384	364,753	2,084,135	200,000
市町支出金 (ソフト事業分)	922,998	351,440	364,753	1,639,191	0
うち県交付金	461,499	175,720	182,376	819,595	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	0	444,944	0	444,944	200,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり係
担当者名	赤羽根 初美
電話	0287-72-6935
連絡先 FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasu.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	那須町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	大島ふれあい田んぼアートづくり事業	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
町支出金	364,753	交付金
計	364,753	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
燃料費	12,000	12,000	6,000	0	燃料費3,000円×4回
印刷製本費	7,000	7,000	3,500	0	缶バッジ作成
原材料費	50,115	50,115	25,057	0	田んぼアートPR看板材料
手数料	21,168	21,168	10,584	0	マスコットキャラクターしまたんクリーニング
保険料	55,810	55,810	27,905	0	障害保険料 322名加入
委託料	198,660	198,660	99,330	0	育苗、アート図面作成業務、ステージ作成業務一式
使用料及び賃借料	20,000	20,000	10,000	0	水田借り上げ料
計	364,753	364,753	182,376		

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	那須町
事業名	芦野根古屋地区景観整備事業(武家屋敷)
事業主体の名称	芦野地区地方創生協議会
代表者の名称	鈴木 友実
事業主体の所在	那須町大字芦野2726-5
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的: 芦野地区の経済活性化、交流拠点化、定住促進に係る諸事業を展開する基本組織となる。 ・設立年月日: 平成28年10月15日 ・構成員等: 芦野地区自治会連合会長、芦野の里づくり委員会、聖天火花大会実行委員長など芦野地区の人々
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>芦野地区は城下町であり、宿場町でもあり、那須町で唯一江戸時代の面影が残る地であるが、現在高齢化が進んでいる。地区内の根古屋地区には、江戸時代芦野家臣団の屋敷があったが、現在子孫は芦野を離れ、敷地や屋敷は放置され、荒れ果て往時の面影はない。後継者不足によって、保全・継承も困難となり、地域内外の交流も減少している。交流人口の増加を図るためには、この地域を観光地・芦野を代表すべきエリアとして存続させ、これまでの名所旧跡に加え、新たな歴史と文化の空間を作る必要がある。</p>
事業目的	<p>根古屋地区芦野家臣の屋敷跡は景観が偲ばれる数少ない空間であり、これらの空間を磨き上げ、集客効果の上昇や郷土愛の醸成を図ることを目的とする。 更に、屋敷跡周辺の御殿山を中心として散策コースを魅力的な景観へと導くことで観光客の滞在時間を延伸し、地区内の商業活動への波及効果を図る。</p>
事業概要	<p>【平成30年度】 ①屋敷跡地の整備と生垣の形成(門及び構えの復元を含む) ②景観に支障となる樹木等の除去と除草作業 ③遊歩道の整備(新町～根古屋の敷石の設置、根古屋～上野町の除草等) 楊源寺一建中寺間の遊歩道を石畳みにすることで、江戸情緒を醸し出す散策ルート設定 (周辺の武家屋敷・生垣等との景観形成) ※既存ホームページ(もうひとつの那須 芦野)上で周知、PR実施</p> <p>【平成31年度】 前年度の実施状況を踏まえ、継続的に実施しつつ、新たに板塀の設置を行う。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標1】「那須」の魅力を最大限活用した地域戦略 【基本的方向】「那須にしかない」地域資源を活用した魅力ある地域戦略 【KPI】転入超過数(転入者数-転出者数) △59人(H26) → 300人(H31) 【H28年度実績 41人】 【目標2】安心して確かな暮らしを営む地域戦略 【KPI】那須町に住み続けたいと思う住民の割合 76.4%(H26) → 80.0%(H31) 【5年に1度のアンケート調査のためH28実績なし】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	30年度	31年度	32年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①屋敷跡の整備 ②生垣の植栽 ③支障木の除去及び 除草 ④遊歩道の整備	①板塀の設置 ②生垣の植栽	①高礼場の復元		①支障木の除去及び 除草
事業費	933,000	600,000	700,000	2,233,000	0
市町支出金 (ソフト事業分)	930,000	500,000	500,000	1,930,000	0
うち県交付金	465,000	250,000	250,000	965,000	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0		0	0
うち県交付金	0	0		0	
その他自主財源等	3,000	100,000	200,000	303,000	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり係
担当者名	赤羽根 初美
電話	0287-72-6935
連絡先 FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasu.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	那須町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	芦野根古屋地区景観整備事業(武家屋敷)	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
町支出金	930,000	交付金
協議会負担金	3,000	
計	933,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
原材料費	779,856	776,856	388,428	3,000	敷石用芦野石、階段用芦野石、表面敷砕石
工事請負費	48,600	48,600	24,300	0	排水管工事代
委託料	104,544	104,544	52,272	0	トラック 芦野石運搬2t車、4t車
計	933,000	930,000	465,000	3,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	那須町
事業名	インターネットラジオ放送局「だっばラジオ」を活用した那須町の魅力発信事業
事業主体の名称	黒田原放送協会
代表者の名称	山崎 雅人
事業主体の所在	那須町大字寺子丙4-55
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:ローカルから全国へ向けた情報発信をインターネットラジオを主とするメディアの活用により那須町の地域振興に寄与すること。 ・設立年月日:平成30年1月1日
当該事業に係る地域の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・那須町には年間500万人もの観光客が訪れているが、那須町民の「生の声」を知ることが出来るインターネット上の情報インフラが整っていない状況であり、リアルタイムでの地元からの発信が少ないことに気づいた。また、インターネット上での地元向けの情報発信や地元住民が楽しめるコンテンツも少ない。これらのことから、観光客や町外者に対する多様な情報発信、地域の方に対するコンテンツ発信不足を解消するために活動を行う。 ・観光客や町外、県外の方への多様な情報発信を行い那須町の知名度向上と魅力発信、地域のファンを獲得する。 ・地域間の垣根を超えるインターネットをツールとし、幅広い年代の地域住民がパーソナリティーを務めることにより生まれる独自の目線や感性、情報を定期的に発信することで地元愛の醸成とにぎわいの創出を図る。
事業目的	
事業概要	<p>【平成30年度】</p> <p>町内にあるインターネットラジオ放送局「だっばラジオ」を活用し、ラジオ放送を中心とした町の魅力発信事業を行った。 開催日時:4月1日～3月31日 開催場所:だっばラジオ(黒田原駅前) 目的:現在は団体所属のパーソナリティーが、ほぼ毎日リアルタイムで番組放送を実施しているが、番組の知名度も低く放送機材やツールも貧弱である。番組の「宣伝、質、地域との連携」を強化することで、町内外の方がより楽しめるコンテンツを作り上げ、町のPRと集客、交流人口の増加に寄与すること。</p> <p>①ラジオ番組告知宣伝を行った。 告知宣伝では、番組内でのチャンネル登録誘導、別番組の視聴誘導を要に継続実施しながら、紹介用のカード(チラシ・パンフレットの役割)・アイコンとなる看板の制作・PVの制作、HPの更新を行った。チャンネル登録者数はまだ伸び悩んでいるが、4月初めに比べ、年度末では視聴回数が平均で20%向上した。</p> <p>②ラジオ番組の強化を行った。 放送機材を全面強化、放送画質、音質、配信の安定性、使い勝手など全ての質を向上することができた。リスナーの皆さまからも機材変更してから好評のコメントが多く届くようになった。また、BGMも新たにオリジナル楽曲を追加し、より印象的な番組作りにつながっている。これまでの放送に比べ、機材の充実によりクオリティーを上げることに成功した。</p> <p>③地域との連携強化を行った。 ・黒田原映画祭においては「だっばラジオ焼き」というオリジナル商品を考案、販売し、ラジオの取組みやチャンネル登録案内などPRを実施した。 ・地域の方たちとの交流会を実施しラジオ体験などを行いラジオの取組みを知っていただく機会を提供した。 ・リスナー交流会を実施し、リスナーとパーソナリティーが実際に意見交換を行い、番組内企画から配信技術まで多くの知識を得ることができた。リスナーに黒田原に来てもらうことで交流人口の増加にも寄与できた。</p> <p>【平成31年度】</p> <p>地域の方たちの知名度が低いことから地元リスナーの強化のため「だっばラジオ体操」を企画することでインターネット環境が無い高齢者などにもラジオを知ってもらい愛着を持ってもらえるよう取組み、地域の情報発信力を強化していく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標1】「那須」の魅力を最大限活用した地域戦略 【基本的方向】「那須」にしかない地域資源を活用した魅力ある地域戦略 【KPI】転入超過数(転入者数-転出者数) △59人(H26) → 300人(H31) 【H28年度実績 41人】 【目標2】安心で確かな暮らしを営む地域戦略 【KPI】那須町に住み続けたいと思う住民の割合 76.4%(H26) → 80.0%(H31) 【5年に1度のアンケート調査のためH28実績なし】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	30年度	31年度	32年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	ラジオ放送を中心とした町の魅力発信事業	ラジオ放送を中心とした町の魅力発信事業	ラジオ放送を中心とした町の魅力発信事業		ラジオ放送を中心とした町の魅力発信事業
事業費	948,000	1,500,000	2,000,000	4,448,000	2,500,000
市町支出金 (ソフト事業分)	930,000	500,000	500,000	1,930,000	0
うち県交付金	465,000	250,000	250,000	965,000	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	18,000	1,000,000	1,500,000	2,518,000	2,500,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり係
担当者名	赤羽根 初美
電話	0287-72-6935
連絡先 FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasu.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	那須町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	インターネットラジオ放送局「だっぱラジオ」を活用した那須町の魅力発信事業	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
町支出金	930,000	交付金
イベント収益	18,000	黒田原映画祭出店収益
計	948,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	100,000	100,000	50,000	0	出演者謝礼、技術指導者謝礼
燃料費	6,393	6,393	3,197	0	灯油代
印刷製本費	50,000	50,000	25,000	0	宣伝用広告物制作 はがきサイズチラシ3,000枚
通信運搬費	57,276	57,276	28,638	0	インターネット通信運搬費 4,773円×12か月
使用料及び賃借料	126,495	126,495	63,247	0	施設使用料・レンタルサーバー使用料
委託料	163,000	163,000	81,500	0	動画制作、ホームページ制作、BGM制作委託料
原材料	38,030	38,030	19,015	0	放送室内環境整備材料費 合板等
備品購入費	390,843	388,806	194,403	2,037	放送機器等
繰越金	15,963	0	0	15,963	次年度繰越金
計	948,000	930,000	465,000	18,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	那須町
事業名	高齢者の生きがいづくりとお出かけ支援事業
事業主体の名称	那須高原クロスロード振興会
代表者の名称	北牧 修平
事業主体の所在	那須町大字高久甲6334-3
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:那須地域の人々が地域のために力が必要であると考えことから、会員同士で運営し部会や勉強会を通じて地域に貢献し地域を豊かにすることを目指す。 ・設立年月日:平成14年10月1日 ・構成員等:活動内容に賛同する町内外の者
当該事業に係る地域の現状と課題	当地区のある那須町北部エリアは、高齢化、過疎化が進み、高齢者の健康維持及び地域コミュニティの希薄化が課題になっている。高齢者の健康維持には、「お出かけ」が重要であり、高齢者の生きがいづくりに大きく寄与する。しかし、「お出かけ」しなくてもできない人がいる現状もあり、健康増進及び生きがいづくりという高齢者のニーズに適合した「お出かけ」支援が必要である。
事業目的	高齢者のお出かけ支援のニーズ調査の上、そのニーズを満たすために住民が主体となった助け合いによるお出かけ支援事業を展開し、高齢者の健康増進と生きがいづくりを醸成する。 また、事業を通じて世代間の交流を図り、住民の郷土愛を醸成する。
事業概要	<p>【平成30年度】</p> <p>①学習会 開催時期:6月、1月、3月に開催した。(延べ43名参加) お出かけの重要性を学び、お出かけのためにはどのような支援が必要か参加者とともに考える学習会の開催。 講師:かながわ福祉移動サービスネットワーク</p> <p>②お出かけ支援調査 実施時期:6月～3月(17日間にわたり調査) お出かけ支援のために地域に何が必要かについて商店街等にヒヤリング調査を実施した。</p> <p>③アンケート調査 開催時期:9月26日締め どのような支援があればお出かけできるか不足しているものは何かなどについて調査を実施した。</p> <p>④試験運行 開催時期:7月～12月 アンケート調査の結果をもとに、お出かけに寄与する運行を地域住民を対象に試験的に実施した。 移動に困難を抱える方々にヒヤリングをすることができ、地域の実態をある程度把握できた。また、支援の方向性についても整理ができた。 (1)住民の相互扶助による送迎の実施→支援団体を発足させる。 (2)お出かけに寄与するルートや運行時間を設定した定時運行→試験走行まで実施した。</p> <p>【平成31年度】</p> <p>①イベント、学習会等の開催 ②会員相互のお出かけ支援の拡充 ③定時運行実現への取組み</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標1】「那須」の魅力を最大限活用した地域戦略 【基本的方向】「那須にしかない」地域資源を活用した魅力ある地域戦略 【KPI】転入超過数(転入者数-転出者数) △59人(H26) → 300人(H31) 【H28年度実績 41人】 【目標2】安心で確かな暮らしを営む地域戦略 【KPI】那須町に住み続けたいと思う住民の割合 76.4%(H26) → 80.0%(H31) 【5年に1度のアンケート調査のためH28実績なし】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	30年度	31年度	32年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①学習会 ②お出かけ支援調査 ③アンケート調査 ④試験運行 ⑤事業説明会 ⑥リーフレットPR	①効果測定 ②学習会 ③2018年度策定の事業計画に基づいた事業			①2018年度策定の事業計画に基づいた事業
事業費	930,638	460,000	100,000	1,490,638	100,000
市町支出金 (ソフト事業分)	880,938	430,000		1,310,938	0
うち県交付金	440,469	215,000		655,469	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0		0	0
うち県交付金	0	0		0	
その他自主財源等	49,700	30,000	100,000	179,700	100,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり係
担当者名	赤羽根 初美
電話	0287-72-6935
連絡先 FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasu.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	那須町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	高齢者の生きがいきづくりとお出かけ支援事業	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
町支出金	880,938	交付金
自主支出額	49,700	デマンド交通部会予算
計	930,638	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	140,000	140,000	70,000	0	講師謝礼、有識者謝礼
旅費	169,320	169,320	84,660	0	講師旅費、お出かけ支援調査旅費
印刷製本費	197,404	197,404	98,702	0	アンケート、リーフレット、学習会資料
通信運搬費	148,414	98,714	49,357	49,700	郵送料
委託料	250,000	250,000	125,000	0	試験運行ドライバー委託料、アンケート設計、分析業務
使用料及び賃借料	25,500	25,500	12,750	0	会場使用料
計	930,638	880,938	440,469	49,700	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合